

第8回勉強会「コミュニティの果たす役割について」

1 班

コミュニティ
の在り方

現在の自治会に必要なこと、不必要なことを整理して解決する

コミュニティ形成の基本は自治会活動にある(みんなが快く参画できる自治会になるよう努力していくことが大事)

地域コミュニティの新たな構築が望まれる

自治会があるのに、コミ協が必要なのか、みんなで考える必要がある

テーマコミュニティと地域コミュニティを融合するものとは?

コミュニティの役割を明確にする

縦と横のコミュニティで分類

運営方法

コミ協役員と自治会役員の兼任は避けるべき

毎年、自治会役員のなり手がいないと聞くが、全体に募集している? 行事を縮小することも考える

自治会の班割と役員の持ち回り制度、毎月の集会に疑問あり

自治会役員に若手住民を登用し、新しい感覚で運営していくべき

自治会役員の閉鎖的な感じを受けることがある(気軽に参加できない)

市の審議会などに、会長などが形式的に参加するのが問題(自治会全体に募集をかけるべきでは?)

コミュニティの課題

地方自治のあり方
特に財政と行政サービス

自治会加入を積極的に進め、みんなが行事に参画できるようにしたい

自分ができる役割を果たすべき

住民の価値観の多様化により1つの自治会をまとめるのは大変。活動を限定すればよいのでは?

財政問題は、真の自治問題である

新住民ばかりの地域と古い地域との生活状況の差が大きい(商店、病院、交通、道路整備など)

家族構成、年齢、職業等はまちまちなので、平等な参加は難しい

新住民、特に若い人は自治会参加を嫌がる傾向にある

議会

市議会議員制度改革、直接民主主義との融合を望む

子ども

子どもたちの住教育(ふるさと意識、新しい公共)

子どもから始める自治教育

子ども会(育成会)のリーダー育成

親睦・交流を図る

地域の人たちとの交流がほとんどない

地域住民との接点がないため共通の目的がない

地域のつながり

住民が地域コミュニティの必要性を共通認識として持つことが大事

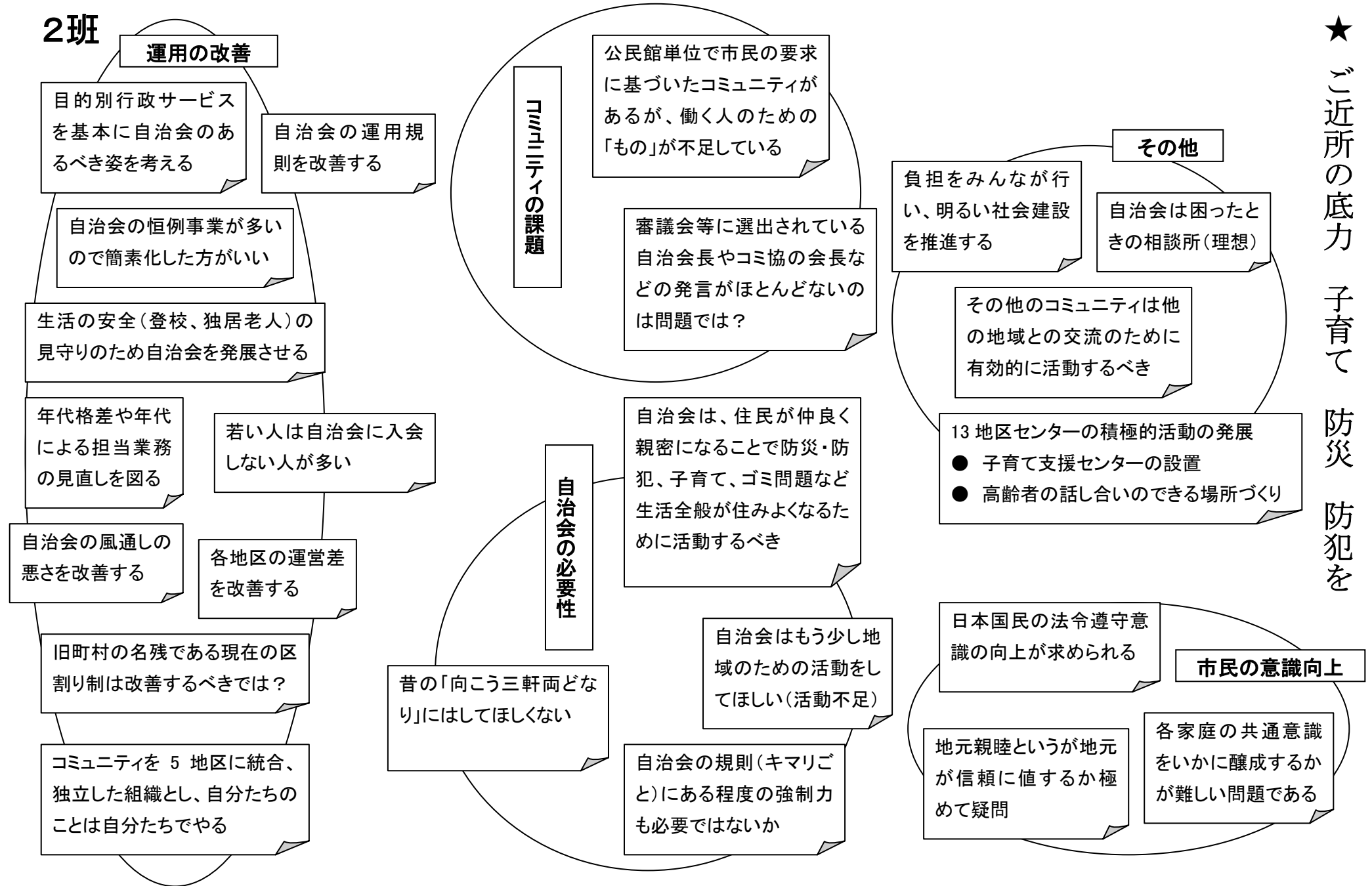
安心・安全

安心・安全のまちづくりに自治会が中心となって活動していく

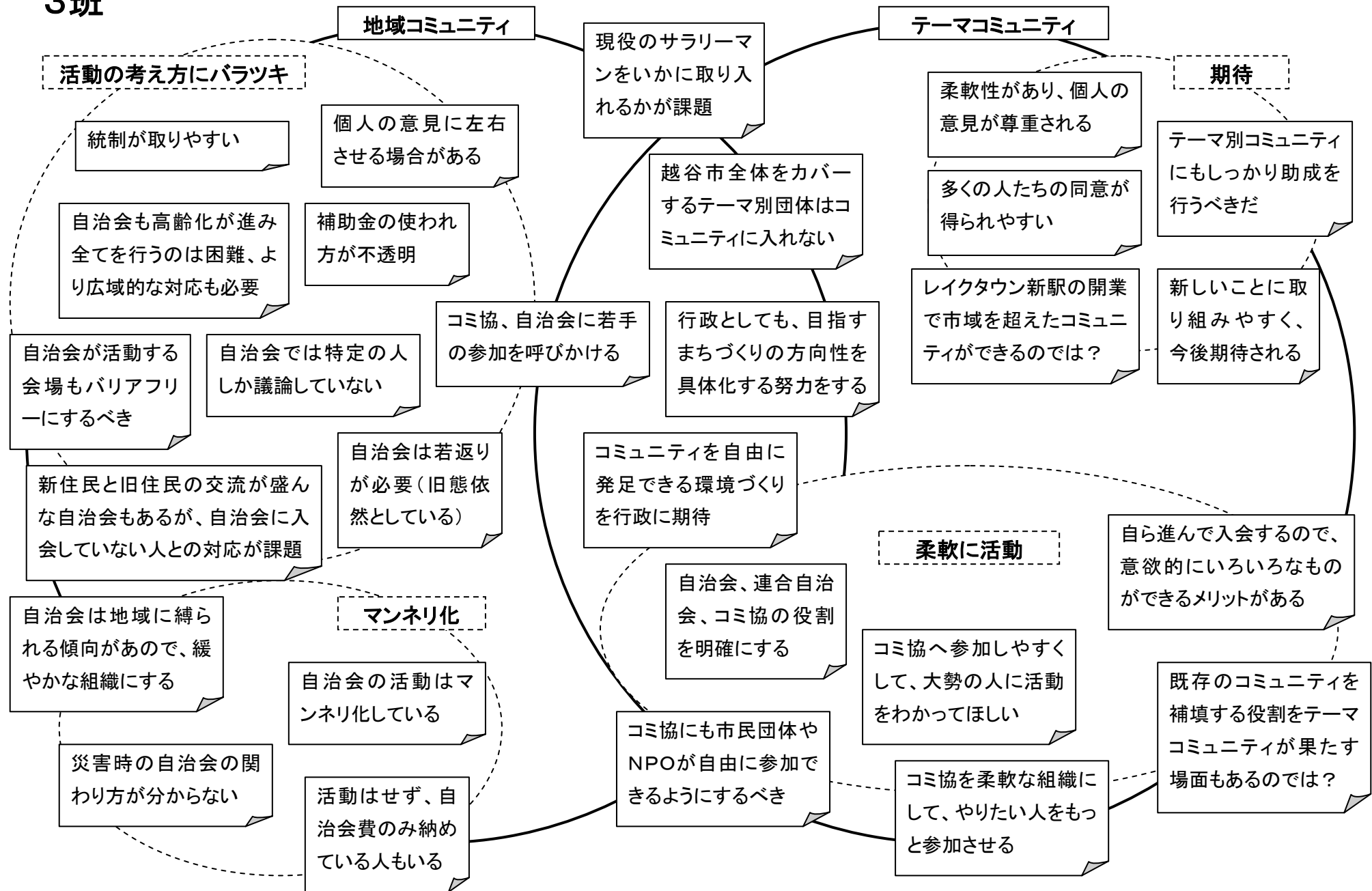
安心・安全の確保—行政に頼らず、できることは地域でやる

★ コミュニティ みんなの創意で 進めよう

2班

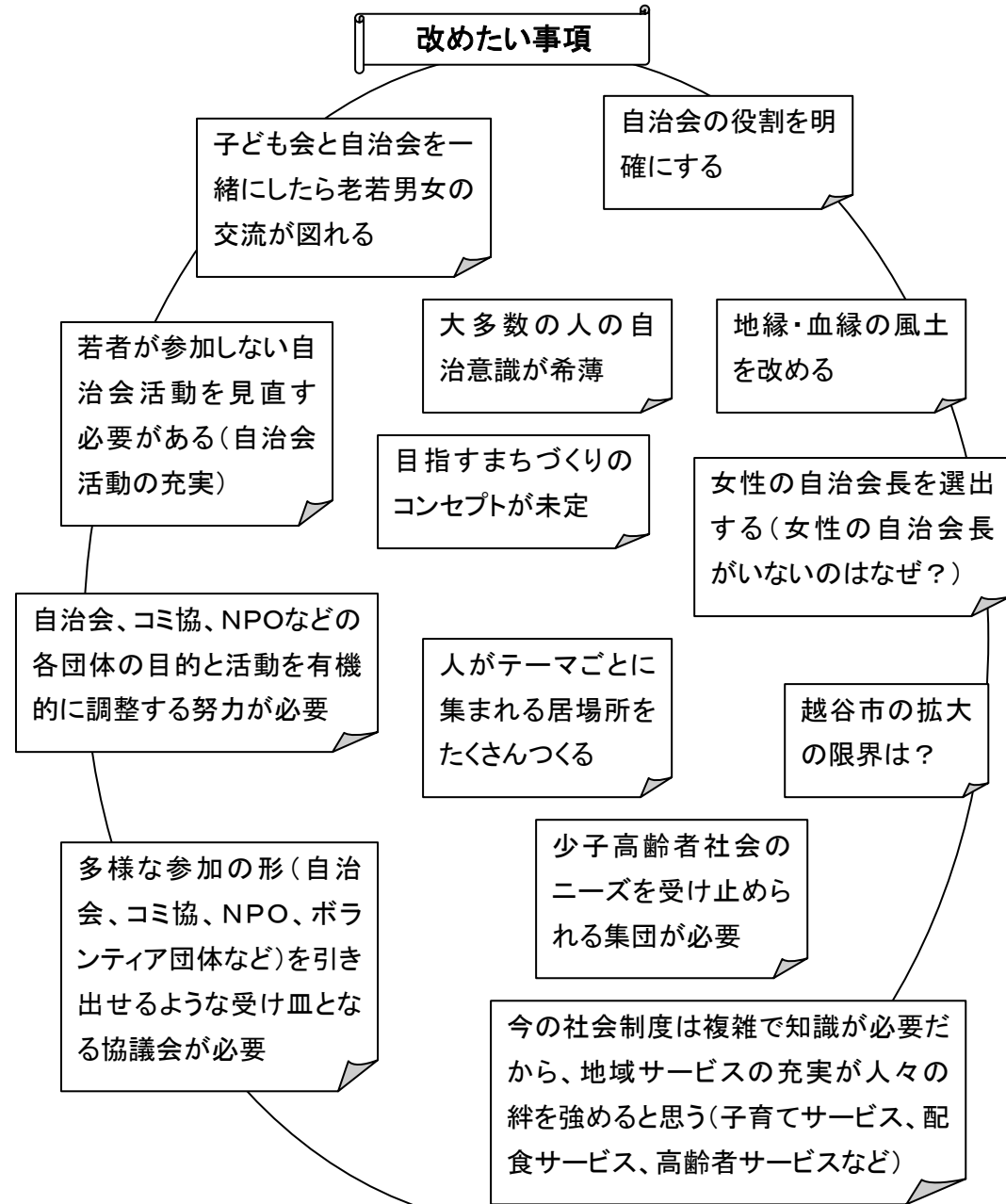
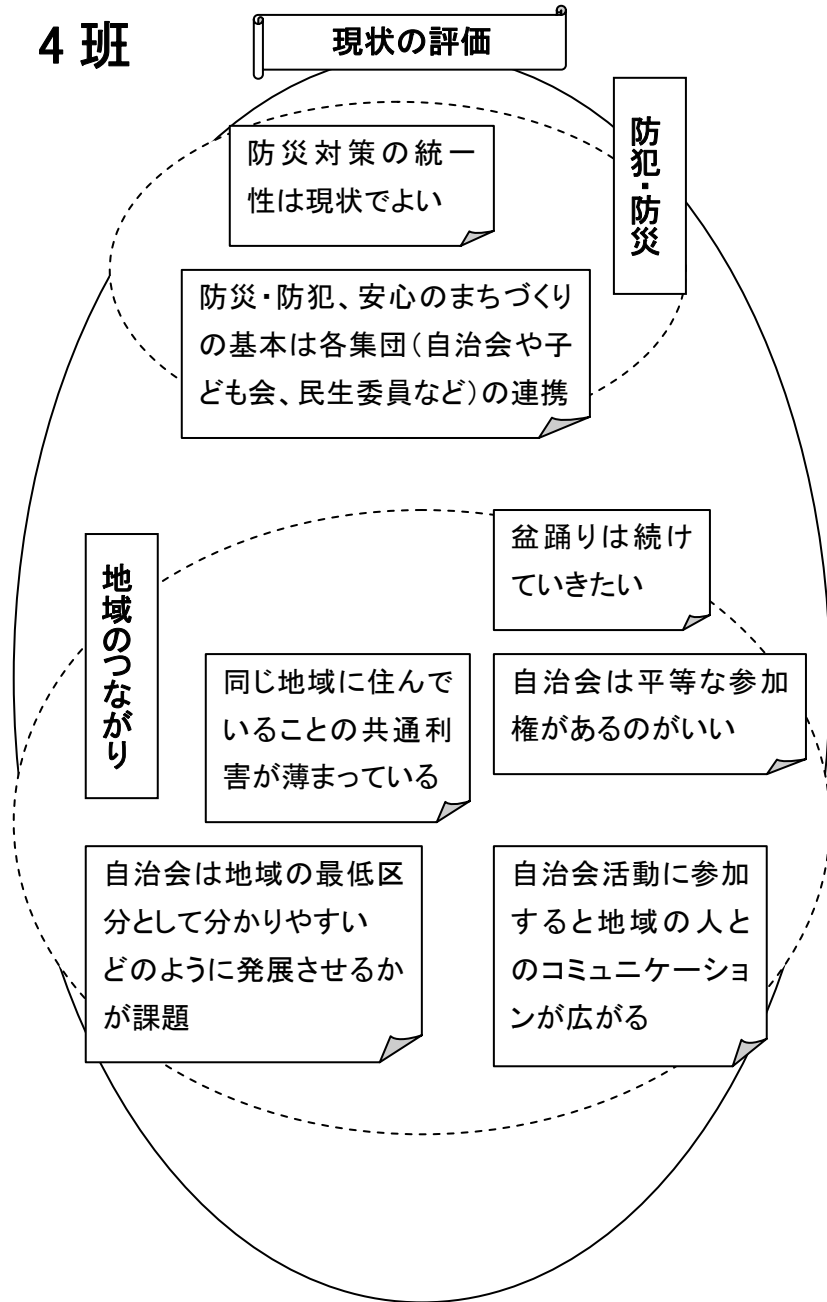


3班



★ 自主性と 柔軟性で 活力を！

4 班



新しいも若きも 大きな輪に

★ つながりは 人と人とのやる気力